

Lesson 3

【お金を貯める・増やす・借りる】

I お金を貯める

Q1 銀行にお金を預けると、どうして利息が付くの？

→ 利息は、お金の「レンタル 料」ともいわれる

・一定期間(通常 1 年)に、どのくらいの 割合 で利息が付くのかを表すものが 金利

→ 金利が高ければ、利息がたくさん付く

〔金利の種類〕(お金を銀行に預けた場合)

- ・ 単利 : 最初に預けた元本に対してだけ、一定の割合で付く利息のこと
- ・ 複利 : 最初の元本に一定期間後の利息を加えたものを、次の元本として計算して付く利息のこと

Q2 同じ金利なら、“単利”と“複利”どちらの方が利息は多くなる？ 単利 ・ 複利

II お金を増やす

Q3 もっているお金の増やし方は？ 貯蓄する、株式・債券・投資信託を購入する など

〔金融商品の3つの特性〕

- ・ 流動 性：必要な時にすぐに換金できるか
- ・ 安全 性：元本（元手）や利息の支払いが確実か
- ・ 収益 性：期待できる収益の大きさ

Q4 次の資金について、あなたなら“金融商品の3つの特性”のうち、どれを重視する？

	A. 3年後の結婚資金	B. 10年以上先の教育資金	C. 20年以上先の老後の資金
重視する特性 <small>(流動性・安全性・収益性)</small>	<u>流動性</u>	<u>安全性</u>	<u>収益性</u>
理由	<u>すぐに必要になるため</u> など	<u>元本が保証されているから</u> など	<u>長期的に運用できるから</u> など

この3つをすべて兼ね備えている金融商品はない
自分の資金のニーズや目的に合わせて、どの特性を重視した金融商品を選ぶかを考える

・収益性の高い金融商品を選ぶ場合、忘れていけないのが リスク である

「Don't put all your eggs in one basket」→ 「1つのカゴに、すべての卵を盛るな」

→ 投資をする場合、1つの資産に集中して投資するのではなく、“値動き”が異なる複数の資産”に「分散投資」することで、リスクを抑えることができるといわれている

・「人生 100 年時代」、手持ちの資産を取り崩す期間が長くなり、“資金寿命”をいかに延ばすかも重要になっている

Q5 投資の対象は金融商品だけではない。他にどんなものがある？

→仕事に必要なスキルを身につけたり、資格を取得したりするなど、自分に対する 自己投資 も大切！
仕事に就いてからも、必要と感じたタイミングで学び直す リカレント教育 にも注目が集まっている

Ⅲ お金を借りる

Q6 あなたは、友達にいくらまでならお金を貸せますか？ 貸さない、500円、3000円など

- お金を借りられるのは、借りる人に「信用」があるから
- 銀行などでローンを組んでお金を借りた場合、【元本(借りた金額)＋利息(レンタル料)】を返済する

$$\text{借りた金額(元金)} \times \text{金利} \times \text{借入期間} = \text{利息}$$

Q7 お金を借りる時の金利は、どうやって決まるの？

- 例) [
- 信用が 高 ければ、返済が行われない可能性が低いので、金利は 低 めに設定される
 - 信用が 低 ければ、返済が行われない可能性を想定して、金利は 高 めに設定される

もし、返済できなくなったら…

担保となった財産の差し押さえ

個人信用情報機関に情報が登録され、その後の借入が難しくなることも

お金を借りる際には、“どれだけ借りられるか”よりも、“きちんと返済できるか”の視点を大切に

Q 8 2年後、進路を決める時、進学費用の準備が難しい…。どうする？

- 奨学金 : “返還(返済)が必要なもの”と、“返還(返済)が必要でない(給付される)もの”がある
学生 が対象
- 教育ローン : 必ず返済する
保護者 が対象

振り返り (1:できなかった 2:まあまあできた 3:できた 4:よくできた)

[授業で学んだこと・印象に残ったことなど]